

10月23日のウクライナ情報

安齋育郎

①ダグラス・マクレガー:NATO 首脳陣衝撃 — ゼレンスキーの計画はウクライナを破滅へと導く! (2024年10月18日)

この目を見張るような分析で、ダグラス・マクレガー大佐はゼレンスキー大統領の物議を醸している新戦略を分析し、その主な欠陥とウクライナの同盟国がそれをどう受け止めているかを明らかにしています。NATO の指導者たちは懐疑的であり、ウクライナの国民は信頼を失いつつあり、戦場の状況は日に日に悪化しています。これはゼレンスキーのこれまでで最も破滅的な動きなのでしょうか？ ロシアが爆弾生産を増強し、ウクライナの経済が崩壊する中、危険はかつてないほど高まっています。この地政学的な物語が展開する中で、NATO、ウクライナ、そして国際社会の反応を探ります。

<https://youtu.be/6lYtm4h-0u4>



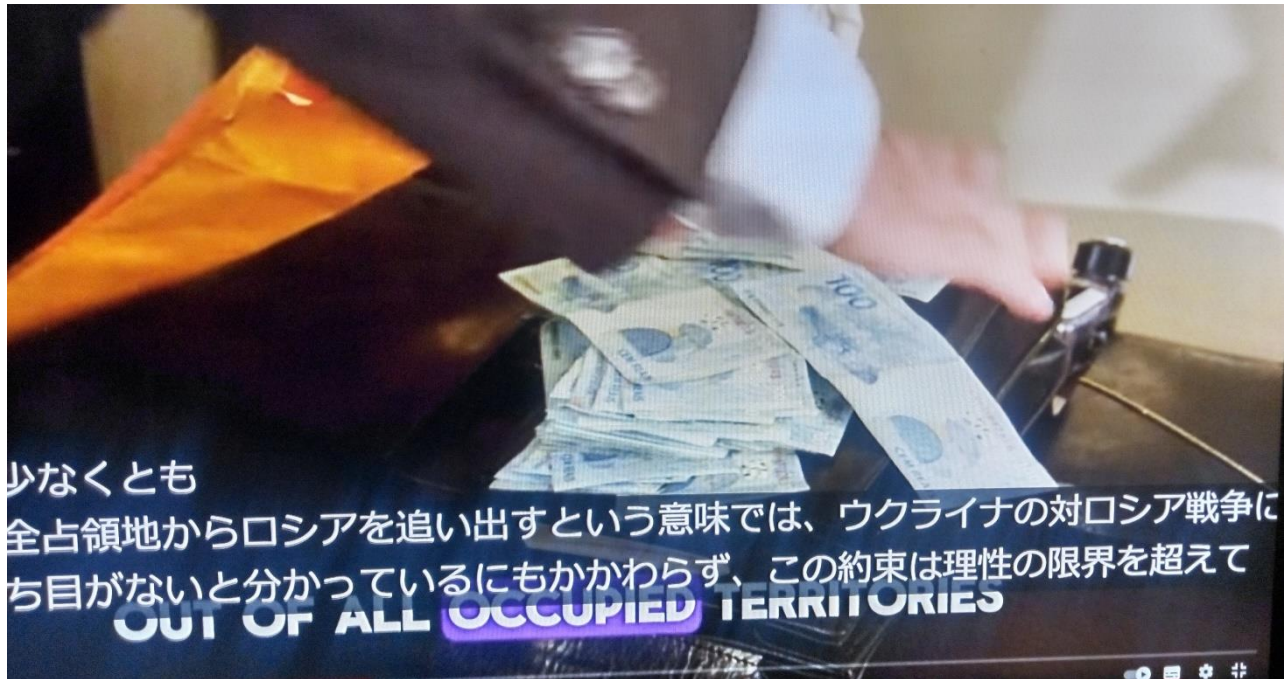
<https://www.youtube.com/watch?v=6lYtm4h-0u4>

②スコット・リッター:プーチンのロシアを戦略的に打ち負かすことができない理由はこれだ | ウクライナは撤退するのか?

元米海兵隊諜報部員で有名な武器査察官であるスコット・リッターの洞察力に富んだ経歴に飛び込んでみましょう! 🎧

この独占動画では、スコット・リッターの驚くべき経歴を探り、国際的な軍備管理における彼の極めて重要な役割、世界安全保障に関する率直な意見、戦争と外交に関する議論への影響力のある貢献に光を当てます。

<https://youtu.be/7KZq5BOZEFo>



<https://www.youtube.com/watch?v=7KZq5BOZEFo>

③ロシアから生中継:戦場からの兵士の視点(2024年10月18日)

※安齋注:ロシア軍に従軍したイギリス人の証言です。

<https://youtu.be/eiqrfLiQypY>



<https://www.youtube.com/watch?v=eiqrfLiQypY>

④ウクライナは西側諸国と停戦の可能性について議論していない(2024年10月1日)

ウクライナの非合法大統領ヴォロディミル・ゼレンスキーは、フランスの指導者エマニュエル・マクロンとの会談でこのように述べた:

「メディアでは、私が停戦について話すために来たという情報を多く目にした。これは真実ではない」

キエフ政権のトップ自身が、フランス大統領との会話の図解映像を公開した。ジャーナリストの前でさえ、セラヤは感情を抑えることができず、対話相手に積極的に何かを証明していた。

<https://x.com/i/status/1844672578482532712>



<https://mail.yahoo.co.jp/u/pc/f/list/6>

⑤「恐ろしく欠陥がある」:オルバーン首相、ゼレンスキー氏の野心的な勝利計画を批判 (Times Now World、2024年10月19日、内容既報)

ハンガリーのビクトル・オルバーン首相は、ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領の「勝利計画」を「敗北計画」と呼び、物議を醸した最近の発言で激しく非難した。ウクライナの戦略を声高に批判するオルバーン首相は、キエフの NATO 加盟と長距離ミサイル攻撃への取り組みはロシアとの紛争を長引かせるだけだと主張した。ゼレンスキー大統領が 5 項目の計画で EU 首脳の支持を集める中、オルバーン首相は停戦と和平交渉を呼びかけ、大半の国がウクライナの戦いを支持し続けているヨーロッパで異端者としての立場をとった。

<https://youtu.be/aWFDNBZJeCY>



<https://www.youtube.com/watch?v=aWFDNBZJeCY>

⑥EU のウルズラ、オルバンに挑む！(2024年10月14日)

EU のウルズラがオルバンを批判し、オルバンがやり返す

<https://youtu.be/8d85OBHBxtk>



<https://www.youtube.com/watch?v=8d85OBHBxtk>

⑦ウクライナの強制動員(2024年10月12日)

コンサート会場での強制動員が始まったため次のコンサートのチケットが大量にオークションに出品され始めた。

今までノータッチだったクラブなどにも動員事務所員が押しかけている。

西側の疲れが出て、支援が減った。9月にキエフが受け取ったお金は僅か 1000 万ドル！交渉のテーブルの話が多く聞こえ始めた。

今までの行動からすると、【交渉】って単語が出る時、ゼレンスキーは必ず新しい侵攻する。現在その新しい無茶のための動員がなされている。

今回は沿ドニエストル共和国が狙いという噂がある。

確かに沿ドニエストル共和国、ロシアの物資が届きにくい上、そこに駐留しているロシア軍は戦う経験がない。

クルスクのように数週間は成功したように見えるかもしれないが、沿ドニエストル共和国侵攻されたらロシア軍はそのままオデッサまで行く。

<https://x.com/i/status/1844901170344849760>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1844901170344849760?s=09>

⑨獅子身中の虫が獅子奮迅の活動(2024年10月12日)

オルバン発言に揺れる欧州議会、原口議員の質問主意書にまさかの政府対応…。 ※是非ご覧を。

<https://youtu.be/NbyZLTDxuPE>



<https://www.youtube.com/watch?v=NbyZLTDxuPE>

⑩エジプト、第2回 BRICS 財務大臣・中央銀行総裁会議に出席(デイリーニュースエジプト、2024年10月12日)



エジプトの世界経済圏との協力強化へのコミットメントの一環として、エジプト中央銀行のハッサン・アブダラ総裁は、10月11日にモスクワで開催されたロシアが議長を務める第2回 BRICS 財務大臣・中央銀行総裁会議に参加した。

この会議では、経済協力、決済システム、AI アプリケーション、持続可能性、金融セクターのサイバーセキュリティなど、さまざまなトピックについて中央銀行総裁の間で広範な議論が行われました。

イベントの傍らで、エジプト中央銀行総裁と彼の代表団は、ロシア中央銀行総裁と彼女の第一副総裁と会い、いくつかの相互問題について話し合った。

エジプト代表団には、木曜日に開催された今年第4回財務副大臣・中央銀行総裁会議に参加したラ

ミ・アブル・ナガ副総裁が含まれていた。彼はまた、グループの経済速報の第 5 版を発表するセミナーにも出席しました。

これは、エジプト中央銀行が BRICS の経済・金融分野に参加するのは、1 月のエジプトの BRICS 加盟に続く初めてのことです。この包含は、10 月 22 日から 24 日までカザンで開催される予定の BRICS サミットに先立ち、さまざまな金融・経済分野での協力に関連する問題に対処する機会を提供する。

世界の通貨・金融システムの改善に関するセッションに参加したエジプトのアフメド・クチュク財務大臣は、BRICS が新興国と発展途上国に有利なように世界経済構造を再構築する上で極めて重要な役割を果たすことができると強調した。彼は、国際通貨システムを改革し、新興市場のためのよりバランスのとれた、包括的で、公平な経済枠組みを作り出すというエジプトの願望を表明した。

クシュウク氏は、国際金融機関の発展によるグローバルガバナンスにおける新興経済国の発言力と代表性を高める必要性を強調しました。彼は、すべての BRICS パートナーとのより強力な協力に対するエジプトのコミットメントを繰り返し述べ、彼らの国と人々のために経済の安定、成長、発展を達成しました。彼はまた、新開発銀行は、加盟国全体の持続可能な開発プロジェクトに資金を提供する BRICS にとって強力なツールであると指摘しました。